

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.801 2020

2020年11月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料63円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641
URL : <https://www.ymcajapan.org/>
発行人／田口 努 編集人／横山 由利亜



OPINION

希望の光：実践をともなう靈性によって レジリエンスのあるコミュニティーを創る

世界YWCA／YMCA両会長からの共同メッセージ

今年初めに起こった新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、この世界をすっかり変えてしまいました。個々の暮らしも地域社会も、あらゆる側面において壊滅的な影響を受けました。規模の大小を問わず、外出・移動の制限によって、多くの人が日常の活動を停止して、これまで当然のこととしてきた前提を疑い、柔軟に事態に対応することを余儀なくされました。

パンデミックは誰に対しても無差別に襲いかかります。しかしその影響は、世界のさまざまな不正義を背景に、社会の最も弱い人々において特に深刻なものとなること示されています。また、世界が、今ある、また生じつつある諸問題に立ち向かう上で必要なレジリエンス、希望、そして地球市民としての感性の核には、信仰や靈性があることも分かってきました。

世界のYWCAとYMCAは、長い歴史を通じて、信仰と靈性と人間性に関わる諸要素を地域社会の中心へと結び合わせる活動を続けてきました。今あらためて、知性・身体・精神の調和を表すわたしたちの共通のシンボルがもつ力強さを思い起こしたいと思います。

YWCAとYMCAのリーダーたち、特に若い世代のリーダーが立ち上がり、パンデミックの影響に対する意識を高めるだけでなく、窮地にある地域社会を支え、強めるためにリーダーシップを発揮している姿に大変勇気づけられます。恐れと孤立に抗い、よりよい社会をめざし、現状を変革するためのYWCAとYMCAの団結は、このパンデミックの中で一層強められています。

今年の世界YWCA・YMCA合同祈禱週のテーマは、ひとつとなって共に歩むことへの呼びかけ、個人的な使命感をどのように集団・地域レベルの変革へと展開させ、実践をともなう靈性によってレジリエントな地域社会を創ることができるかをじっくりと考えることへの呼びかけです。希望は、状況がどれほど深刻であっても良いことは起こるのだと教えてくれます。

すでに多くの人が、現状を変えるためにそれぞれの地域で行動しています。デマに対処したり、斬新な方法で身体的、経済的、精神的、宗教的なサポートを提供したりして、やさしさの輪を広げ、困窮の中にある人々に寄り添っています。一人ひとりに役割があります。すべての人が支援を受けることができなければなりません。一人ひとりが大切なのです。

政府や行政、諸団体、諸機関には、それぞれの地域に生きるあらゆる人、とりわけ周縁に置かれた人々と弱く不利な立場にある人々を支えることで、その地域で公正さと愛と平和が促進されるように社会を建て直すことが求められています。わたしたちYWCAとYMCAは、パンデミックが引き起こしている制度的な苦しみ、家族や地域が被った心の傷、そして人々の個別の不安があることを認識しつつ、この危機において真の希望のシンボルとして輝いている、リーダーや運動のレジリエントな地域社会を築く力を強化していきます。

ブックレットは、今回の祈禱週とそれ以後の日々において、わたしたちが、聖書の言葉を介してさまざまな人の実体験や地域の現実につながることを後押ししてくれます。今後も耐え忍んでゆかねばならない苦悩のただ中で、わたしたちは希望と連帯の物語の中に慰めを見出すとともに、コロナ以後の世界を生きるための励みになる教訓を与えられることでしょう。

世界YWCA会長 ミラ・リゼック 世界YMCA同盟会長 パトリシア・ペルトン

(2020年世界YWCA/YMCA合同祈禱週ブックレットより)

いまこそ、ポジティブネット

日本YMCA同盟では、地域社会の課題に対して、企業や行政をパートナーとし、それぞれの資源や特性を生かして迅速に解決に臨む「プロジェクト型寄附」を進めています。

地域のつながりで社会的貧困を支える

とちぎYMCAが宇都宮市から委託を受ける「宇都宮市子どもの居場所 もうひとつの家アットホームきよはら」は、地域ぐるみで子どもの貧困に取り組む「子どもSUNSUNプロジェクト(子どもの貧困撃退円卓会議)」に参画しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、日ごろ行われていた「きよはら子ども食堂・みんなの食堂キャラバン」は開催できなくなりました。しかし子どもと家庭を取り巻く貧困の課題は、感染の終息を待ってはくれません。コロナ禍、災害時などにあっても、3密を回避して、中断・中止しないで持続できる「居場所」「子ども食堂・みんなの食堂」があれば、人と人のつながりを維持して社会的孤立や社会的貧困への支援が継続できるのではないかと、ということから、キッチンカーでさまざまなところに出向き、子ども食堂をする「きよはら子ども食堂・みんなの食堂キャラバン」に取り組むことにしました。

9月に実施した練習第1弾ではカレーライスを作りました。地域の方々や子どもたちが来てくれて、カレーを食べたり、準備していた花火などをしながら、同じ地域の知らない人たちともつながる時間を過ごしました。

地域ぐるみで活動することにより、地区の連合自治会長会議でアナウンスの機会を得て、子どもの貧困課題について地域自治会の協力を引き出すことが可能になりました。また、地域包括支援センターや福祉のまちづくりセクターとも、子どもの貧困課題について共通の課題点が見出され、多世代による地域の居場所づくりの基盤もできつつあります。

今後はキッチンカープロジェクトを広め、継続していくために、自分たちのキッチンカー購入という大きな夢も視野に入れています。地域のより多くの方々が集う、安全なみんなの居場所になっていきたいと思っています。

とちぎYMCA 塩澤 達俊



カレーライスが待ちきれない

エッセンシャルワーカーを支援する

3月上旬～5月末(計60日間)の学校休校に伴い、学童保育等も休講する中、熊本YMCAみなみセンターは、休校対応のアフタースクールを実施しました。医療従事者や、緊急事態宣言中でも仕事を休めないご家庭からの利用が多くありました。

近隣小学校の学童保育では、受入れを「医療従事者且つ新型コロナウイルス対策の最前線で働いている人の子ども」に限定していました。しかし、私たちの暮らす地域社会を支える仕事に従事されている家庭を支援したいという思いから、感染症対策を徹底することで、子どもたちの受入れに踏み切りました。



おさるにもマスクを作ってあげたよ!

保護者の方からは「産婦人科医のため、学童保育の受入れ対象家庭から除外されました。しかし、YMCAで受け入れてくださったこと、お預かりを続けてくださったことで、仕事を継続することができました。とても感謝しています」「熊本市から、5月末まで小学校休校の知らせがきたときには、子どもの学業や体力維持などとても不安でした。YMCAは、そのような意見にも耳を傾けてくださり、勉強のサポートやプール開放をしていただきました。預け先がないと、仕事が継続できなかったため、本当に感謝しています」など、多くの温かい言葉をいただき、地域のつながりを再確認しました。

これからも、「ウイルスを正しく恐れ、『安全の徹底、つながりの回復を行う』」というYMCAのメッセージを、実践を通して地域に発信していきます。

熊本YMCA 木村 成寿

このほかにもさまざまな活動が、全国で展開されています。北海道胆振東部地震被災地支援「厚真リフレッシュキャンプ」/体力増強キャンペーン「親子でチャレンジスポーツ」「かけっこ教室」(北海道YMCA) 小中学生への無料学習支援「未来へプロジェクト」(茨城YMCA) 生活困窮者の巡回支援(反貧困ネットワーク埼玉・協働) (埼玉YMCA)



みんなの『個性』や『夢』を書いた手の形の葉っぱで作った木(北海道YMCA)

ご支援に感謝

— たくさんの食料品をいただきました —

新型コロナウイルス感染拡大による外出の自粛、緊急事態宣言により、YMCAの日本語学校に通う留学生や、地域で暮らす支援を必要とする人々には厳しい日々が続きました。留学生が直面したのは、孤独とアルバイトができなくなったことによる収入の激減でした。生活困窮者等も日々の食事にさえ事欠くこととなり、緊急支援が必要となりました。

この状況をいち早く株式会社味の素様がご理解くださり、お味噌汁、スープ、炊き込みご飯の素、アミノバイタルなどを大量にご提供くださいました。

全国のYMCAに届けられた食料品は、日本語学校では直接留学生に手渡され、また、支援を必要とする人々や対象家庭にも届けられました。炊き込みご飯の素を使った地域での炊き出しも行われ、人々の生活を直に支えることができました。

YMCAの人々に伴走する姿勢をご理解くださり、ご寄附をくださった味の素様に心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

日本YMCA同盟国際賛助室 届いた食料品を手にする留学生たち(名古屋YMCA)



2020年度YMCA/YWCA合同祈禱礼拝・祈禱会

今年は以下の場所で開催が予定されています。お近くの会場でぜひご参加ください。

■北海道 11月13日(金) 18:30~19:30

会場/北海道YMCA(連絡先:011-561-5217)

*関係者のみ、人数制限あり

■東京 11月12日(木) 18:30~19:30

会場/東京YMCA社会体育・保育専門学校(連絡先:03-6302-1960)

*オンラインでも参加可能(希望者に招待メールを送信)

■横浜 11月7日(土) 15:00~16:00

会場/横浜YWCA(連絡先:045-662-3721・横浜中央YMCA)

■藤沢・平塚 11月12日(木) 13:30~15:00

会場/藤沢YMCA(連絡先:0466-26-1151)

■鎌倉・湘南 11月19日(木) 13:30~15:30

会場/鎌倉恩寵教会(連絡先:0467-24-7859・鎌倉YMCA)

■山梨 11月15日(日) 15:00~17:00

会場/山梨YMCA(連絡先:055-235-8543)

■滋賀 11月11日(水) 19:00~20:30

会場/滋賀YMCA(連絡先:0748-33-2420)

■京都 11月27日(金) 19:00~

会場/オンライン(連絡先:075-231-4388・京都YMCA)

■大阪 11月10日(火) 18:30~19:30

会場/大阪YMCA(連絡先:06-6441-0894) *オンラインでも参加可能

■広島 11月7日(土) 10:30~12:00

会場/広島YMCA(連絡先:082-227-6816)